

令和7年洞爺湖町教育委員会第2回定例会会議録

日 時	令和7年3月21日（金） 13：30より
場 所	役場第2委員会室
出席委員	教 育 長            洪 川 賢 一 委        員            吉 田        聡 委        員            岡 本 里 佳
欠席委員	委        員            来 栖 由 喜 委        員            岩 崎 義 久
説 明 員	教育指導参与        山 本 恵一郎 教育推進課長        細 江 幸 恵 社会教育課長        角 田 隆 志
会議録調整者	教育推進課係長    大 楽 泰 生
傍 聴 者	無し
日 程 第 1 【開会宣言】	洪川教育長 開会を宣言する。（13：30）
日 程 第 2 【前回会議録の承認】	洪川教育長 各委員の署名により、承認を確認。
日 程 第 3 【教育長諸般の報告】	洪川教育長 2／13 定例教頭会議（第2委員会室） 〃 ふるさと学習発表会 2／17 総務常任委員会委員協議会（第1委員会室） 〃 中教審教育課程企画特別部会傍聴（オンライン） 2／18 経済常任委員会委員協議会（第1委員会室） 2／20 芸術館あり方検討委員会（洞爺総合支所） 2／22 ナチュの森クロージングセレモニー （白老町：ナチュラルファクトリー） 2／25 虻田高校学校運営協議会（虻田高校） 2／27 商工会女性部からの寄贈式（教育長室） 〃 校歌プロジェクト寄贈式（洞爺中学校） 2／28 租税教育推進懇話会総会（防災研修ホール）

日 程 第 4  
【 報 告 事 項 】  
・ 報告第 7 号

- 2 / 2 8 臨時校長会議（第 2 委員会室）
  - 〃 読書紹介文・感想画コンクール表彰式（町民ホール）
  - 〃 ロータリークラブ図書贈呈式（教育長室）
- 3 / 1 虻田高等学校卒業式（虻田高校体育館）
- 3 / 5 ～ 1 3 洞爺湖町議会 3 月会議及び予算審査特別委員会（本会議場）
- 3 / 6 体育協会スポーツ表彰式（3 0 3 会議室）
- 3 / 9 ふれ合う心の文化広場（洞爺湖町文化センター）
- 3 / 1 0 定例教頭会議（第 2 委員会室）
- 3 / 1 7 育英資金運営委員会（第 1 委員会室）
- 3 / 1 9 洞爺湖温泉小学校卒業式（洞爺湖温泉小学校）
  - 〃 社会教育委員会議（第 2 委員会室）
- 3 / 2 1 教育委員会議（第 2 委員会室）
  - 〃 叙勲伝達式（町長室）

**渋川教育長**

日程第 4、報告事項。報告第 7 号、教育推進課所管の各種事務事業の取り組み状況について事務局からお願いいたします。

**細江教育推進課長**

2 ページをお開きください。

それでは報告第 7 号、教育推進課所管の各種事務事業の取り組み状況について、次のとおりご報告させていただきます。1 の寄付についてでございます。

このたび、次の方々より寄付の申し出があり、ご厚意に沿うようありがたく受納させていただきました。

1 番目、食材の寄付です。噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会会長、伊達市長堀井 敬太氏より虻田・洞爺学校給食センターへホタテ貝（2 年貝）137kg をいただいたところでございます。

2 番目、図書の寄付でございます。町内小中学校へ洞爺湖ロータリークラブ会長 増山 顕佑氏より図書 105 冊をいただいております。それぞれの学校で選んだものでございまして、虻田小学校 27 冊、洞爺湖温泉小学校 16 冊、とうや小学校 19 冊、虻田中学校 21 冊、洞爺中学校 22 冊となっております。

3 番目、文房具の寄付でございます。こちらは町内小学校新 1 年生へ、洞爺湖町商工会女性部部長 内藤さよ子氏から、水性ペン 8 色入りを 40 セットいただいたところでございます。

4 番目、文房具の寄付でございます。こちらは、公益社団法人会洞爺湖支部支部長 大久保和幸氏より町内小学校新 1 年生へ文房具セットを 42 セット寄付いただいたものでございます。

5 番目、ランドセルカバーの寄付で町内小学校の新 1 年生へ生活協同組合コープさっぽろ執行役員宅配事業本部長 佐藤政宏氏より、ランドセルカバー 43 枚の寄付をいただいたところでございます。

2 つ目といたしまして、洞爺湖町教育行政審議会からの答申についてでございます。以前、協議会において経過報告をさせていただいておりますが、答申を受けましたので、改めて報告をさせていただくものでございます。

洞爺湖町立学校における特色ある学校づくりと教育環境の向上に関する総合

<p>・ 報告第 8 号</p>	<p>的な方策について、洞爺湖町教育行政審議会に諮問し、約 1 年 2 ヶ月にわたる審議を経て、令和 7 年 1 月 23 日に答申をいただきました。本答申には、洞爺湖町が目指す子どもの姿や、それを実現するための環境づくり、さらには今後の町の教育が進むべき方向性が示されました。</p> <p>町の現状を踏まえ、ソフト・ハードの面から今後の教育のあり方を検討するにあたり、本答申を基に、スピード感を持ちつつ、優先順位を考慮しながら進めてまいります。また、具体的な協議が必要な事項については、個別の協議会を設け、慎重に議論を深めていきたいと存じます。</p> <p>以上でございます。</p> <p><b>渋川教育長</b></p> <p>質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>《なしの声》</p> <p>それでは、以上のとおり報告を受けたということでご了承をお願いいたします。</p> <p>続きまして報告第 8 号、社会教育課所管の各種事務事業の取り組み状況について、事務局よりお願いいたします。</p> <p><b>角田社会教育課長</b></p> <p>報告第 8 号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について次のとおり報告いたします。</p> <p>洞爺湖芸術館あり方検討委員会の開催について。洞爺湖芸術館の課題や今後の活用のあり方について意見を聴取することを目的とした「洞爺湖芸術館あり方検討委員会」の第 3 回会議を令和 7 年 2 月 20 日に洞爺総合センターにおいて開催いたしました。会議では、洞爺湖芸術館における活性化策について資料を提示して説明し、委員の皆様からは、子どもから大人まで芸術文化を親しんでもらうことを目的としたワークショップなどのソフト事業の実施や芸術館の魅力について情報発信を行うなど、裾野を広げる取組を積極的に推進していただいたいのご意見をいただきました。</p> <p>今後は、3 回にわたる会議で、いただいたご意見をもとに運営方針を作成し、町民の皆様方に親しまれる洞爺湖芸術館を目指してまいります。</p> <p>以上です。</p> <p><b>渋川教育長</b></p> <p>それでは、質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>《なしの声》</p> <p>以上のとおり、報告を受けたということでご了承をお願いいたします。続きまして、報告第 9 号、臨時代理の報告について。洞爺湖町議会令和 7 年 3 月会議提出一般会計補正予算第 7 号について事務局よりお願いいたします。</p>
<p>・ 報告第 9 号</p>	<p><b>細江教育推進課長</b></p> <p>議案書 5 ページになります。</p> <p>報告第 9 号、臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和 7 年 3 月会議提出一般会計補正案補正予算（第 7 号））でございます。</p> <p>洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条第 1 項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので同条第 2 項の規定により、これを報告するもの</p>

でございます。6 ページ目が、町長から教育長宛ての補正予算に対する意見を求める文書でございます。7 ページ目が、教育長から町長に対する異議はありません旨の通知する文書でございます。補正予算の中身は 9 ページ以降になります。

3 月に提案いたしました歳入・歳出補正予算につきましては、ほとんどが決算見込みによる執行残というものでございますので、設備、施設ごとの詳細については、説明を省略したいと思います。

9 ページ、歳入でございます。15 款国庫支出金、2 項国庫補助金、5 目教育費国庫補助金で 50 千円の減額補正。続きまして 22 款町債、1 項町債、8 目教育債で 3,000 千円の減額補正です。どちらも歳出の執行残により減額するものでございます。

続きまして 10 ページ目の歳出でございます。10 款教育費、1 項教育総務費、2 目事務局費でございます。補正額 70 千円の増額でございます。ふるさと納税の増による育英資金等教育振興基金積立金の増でございます。

3 目諸費でございます。補正額 5,038 千円の減額でございます。教育振興事業の支援員、介護員等の欠勤等に伴う執行残や、高校生通学費等助成金等の執行残および小中学校スクールバス運行事業、スクールバス運行委託料の執行残でございます。

4 目教員住宅管理費でございます。補正額 2,870 千円の減額でございます。教員住宅維持管理事業で、修繕量・工事請負費等の執行残でございます。続きまして、2 項小学校費、一目小学校管理費でございます。補正額 1,589 千円の減額でございます。こちらは小学校管理事業で、実施設計等の委託料の執行残によるものでございます。その下の小学校 ICT 環境整備事業でございます。こちらはパソコンの設定手数料の執行残によるものでございます。

続きまして、2 目教育振興費、小学校就学援助事業費でございます。補正額 300 千円の減額というところでございます。こちらは扶助費の執行残によるものでございます。

続きまして、11 ページ。3 項中学校費、1 目中学校管理費でございます。こちらの補正額は 1,084 千円の減額でございます。中学校管理事業で、校務補の共済費等および実施設計の委託料等の執行残によるものでございます。その下の中学校 ICT 環境整備事業では、通信運搬費およびパソコン設定手数料の執行残によるものでございます。

続きまして、12 ページ目の下の段をご覧いただきたいと思います。5 項保健体育費、3 目給食施設費でございます。補正額 2,236 千円の減額でございます。洞爺給食センター運営事業で、人件費および備品購入費の執行残によるものでございます。

虻田給食センター運営事業では、物品借上料等のリースの執行残によるものでございます。

以上、教育推進課所管の説明を終わらせていただきます。

#### 角田社会教育課長

続きまして議案書 11 ページに戻っていただいて、4 項社会教育費になります。1 目社会教育総務費につきましては、英国青年ボランティア事業で、地域振興課の所管事業になっておりますので説明を割愛させていただきます。

2 目社会教育奨励費、補正額 1,777 千円の減額となっております。こちらにつきましてはフレンドリーツアーなどの事業の実績により減額するものでございます。

3目社会教育施設費、1の社会教育施設維持管理事業で300千円、燃料費の不足により300千円の増。3の洞爺湖芸術館管理運営事業につきましては、事業の執行残となっております。

続きまして、12ページです。5項保健体育費、1目体育奨励費でございます。補正額が250千円の減額です。社会体育振興事業におきまして、スポーツ推進委員会の委員報酬、スポーツ事業に係る報奨金につきましてはの執行残となっております。

以上でございます。

#### 渋川教育長

ただいま報告を受けましたけれども、質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

《なしの声》

それでは、以上のとおり報告を受けたということでご了承お願いいたします。

続きまして、報告第10号、臨時代理の報告について。洞爺湖町議会令和7年3月会議提出令和7年度一般会計予算当初について報告をお願いいたします。

#### 細江教育推進課長

議案書13ページになります。

報告第10号、臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和7年3月会議提出一般会計予算（当初））について報告をいたします。

洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2条第1項の規定により、これを報告するものでございます。

14ページが、町長から教育長に対する意見の申し出でございます。15ページが、教育長から町長に対する異議はない旨の通知でございます。予算書は16ページからとなっております。

まず、17ページ目の歳入でございます。中ほどの15款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金でございます。68,912千円予算計上してございます。このうち、右側の節の小学校費補助金と中学校費補助金が教育推進課所管のものとなっております。小中学校の就学援助に係る国の負担金、エアコン設置にかかる交付金、虻田中学校移転にかかる工事費の負担金、教育用タブレット購入に伴う補助金の歳入を見込んだものでございます。

続きまして18ページになります。17款財産収入、1項財産運用収入、1目財産貸付収入でございます。こちらは、教員住宅の貸付料の収入859千円を予算計上しているところでございます。

続きまして、19款繰入金、1項繰入金、1目繰入金で、本年度予算額37,790千円を計上してございます。このうち、教育委員会関連につきましては、育英資金等教育振興基金からの繰入、みんなの基金からの繰入としておりまして、それぞれ記載している事業を計上してございます。

続きまして、3項雑入でございます。9節の学校給食費徴収金、ここでは3,461千円を予算計上してございますが、これは保育士の給食代ということで、子育て支援課の部分となっております。

19ページになります。22款町債、1項町債、8目教育債で116,900千円の予算を計上しております。一つ目が学校教育施設等整備事業債で110,100千円でございます。

これは、小中学校の各教室に設置するエアコン設置工事および虻田中学校移転改修工事に係る起債でございます。2 の過疎地域持続発展特別事業債でございます。高校生通学費助成に係る費用としての起債でございます。歳入は以上でございます。

続きまして、歳出でございます。20 ページ以降となっております。まず、教育委員会の運営事業でございます。

10 款教育費、1 項教育総務費、1 目教育委員会費でございます。本年度予算額 1,614 千円で、前年度対比で 18 千円の減額でございます。この事業は、教育委員会の運営に係る事業で、主な内容は教育委員会議の開催による委員報酬や交際費に係る予算を計上しており、前年度並みの予算計上となっております。

続きまして、事務局管理事業で 2 目事務局費でございます。本年度予算額 785 千円

で、前年度対比で 213000 円の減額でございます。事業目的につきましては、教育委員会の事務局運営に係る事業で、主な内容は事務局の旅費や各種負担金に要する経費などを計上しており、前年度並みの予算計上となっております。

次に、育英資金等教育振興基金管理事業でございます。本年度予算額 29,509 千円で、前年度対比 1,760 千円の増額となっております。この事業につきましては、育英資金等教育振興基金の管理に係る事業で、主な内容は、入学時の給付事業や、ふるさと納税に係る基金積み立てに関する経費を計上してございます。増となっている要因につきましては、ふるさと納税の増による積立金が増額となっております。

続きまして、3 目諸費で教育推進事業でございます。本年度予算額 57,802 千円で

前年度対比 4,162 千円の減額となっております。事業目的につきましては、教育推進に係る各教育活動や教育支援に係る事業で、主な内容としては、会計年度任用職員の人件費、システム使用料、虻田高校の支援や子育て支援に要する経費を計上してございます。主な増減の要因としては、1 節の報酬で、学習支援員・介護員の業務及び配置の見直しによる会計年度職員の人件費減。13 節使用料及び賃借料で、AI ドリル使用料の増。18 節負担金補助及び交付金で洞爺湖町教育研究所開設による増。虻田高校支援に係る補助金が在籍生徒数による減と高校通学費助成対象者数減によるものでございます。

続きまして、21 ページになります。2 番目の小中学校スクールバス運行事業でございます。本年度予算額 30,499 千円で前年度対比 6,670 千円の減額となっております。この事業につきましては、虻田・洞爺地区に運行しているスクールバスの運行に係る事業で、主な内容としては、燃料費や運行委託に要する経費を計上しており、主な減の内容は 12 節委託料で、運行経路変更に伴う委託料の減によるものです。

続きまして、箱根中学生親善交流事業でございます。本年度予算額 1,314 千円で、前年度対比 139 千円の増額でございます。事業目的につきましては、姉妹都市の箱根町中学生との相互交流で、主な内容は交流に係る報奨金や旅費に要する経費を計上しており、前年度並みの予算計上となっております。

続きまして、その下になります。四つ目、教員住宅管理費でございます。教員住宅維持管理事業の本年度予算額が 701 千円で、前年度対比 2,254 千円の減額でございます。事業目的は教員住宅の維持管理に係る経費で、主な内容は、町内にある 15 個の

教員住宅の維持管理に要する経費でございます。主な原因減の要因といたしま

しては、10 節の需用費、細節の修繕料で、入居者の教員住宅の修繕見込みによる減と、14 節の工事請負費が減となったことによるものでございます。

続きまして、21 ページから 22 ページになります。2 項小学校管理費、1 目小学校管理費の小学校管理事業でございます。本年度予算額 158,930 千円。前年度対比で 106,994 千円の増額でございます。事業目的につきましては、町内三つの小学校管理運営に係る事業で、主な内容は、会計年度職員の人件費、光熱水費や各種委託業務に要する経費、各小学校の改修工事に要する経費を計上しております。主な増の内容ですが、14 節の工事請負費で、とうや小学校トイレの洋式化工事、各小学校の各教室へのエアコン設置工事や令和 8 年度虻田中学校が虻田小学校へ移転に伴う虻田小学校使用部分の特別支援教室、体育館中央ネット設置工事等が増となっております。

続きまして、22 ページの小学校 ICT 環境整備事業でございます。本年度の予算額 21,005 千円、前年度対比で 14,131 千円の増額でございます。事業目的につきましては、町内三つの小学校の GIGA スクールの環境整備に係る事業で、主な内容は各種設定業務や、児童用タブレット端末及び教師用パソコンの購入に要する経費を計上してございます。主な増の内容ですが、17 節の備品購入費で教師用パソコン 31 台および児童用タブレット端末が 240 台の購入費用として、その分が増額となっております。

続きまして、22 ページになります。2 目教育振興費で小学校就学援助事業でございます。本年度予算額 6,445 千円で前年度対比 386 千円の減額でございます。事業目的につきましては、義務教育の円滑な実施を図るための支援事業で、主な内容は学用品費から卒業アルバム代まで 11 項目を扶助費として計上しており、前年度並みの計上でございます。

続きまして 23 ページになります。小学校教育振興事業でございます。本年度予算額 3,411 千円で、前年度対比 10,921 千円の減額でございます。事業目的につきましては、小学校の教材整備に係る事業で、主な内容は、学習に必要な教員の指導者や教材の購入に要する経費を計上しております。主な減の内容は 10 節需用費で、昨年度は 4 年ごとに教科書改訂に伴い、教師の指導書等の更新が行われましたが、今年度におきましては、更新の必要がないことから減となったものでございます。

続きまして、3 項中学校費、1 目中学校管理費で中学校管理事業でございます。本年度予算額 103,684 千円で、前年度対比 61,614 千円の増額でございます。事業目的につきましては、町内二つの中学校の管理運営に係る事業で、主な内容は、会計年度任用職員の人件費、光熱費や各種委託業務に要する経費、各中学校改修工事に要する経費を計上しております。主な増の内容ですが、12 節委託料で、虻田中学校移転に伴う実施設計費用の増。14 節工事請負費で各中学校教室へのエアコン設置工事や令和 8 年度虻田中学校が虻田小学校への移転に伴う虻田中学校が使用する部分での特別支援教室、トイレ改修工事の増など記載のとおりとなっております。

続きまして 24 ページになります。中学校の ICT 環境整備事業でございます。本年度予算額 13,698 千円で、前年度対比 8,719 千円の増額でございます。事業目的につきましては、町内二つの中学校の GIGA スクールの環境整備に係る事業で、主な内容は各種設定業務や生徒用タブレット端末及び教師用パソコンの購入に要する経費を計上してございます。主な増の内容ですが、17 節の備品購入費で、教師用パソコン 25 台及び生徒用タブレット端末 130 台の購入費用による増となっております。

続きまして、2 目教育振興費の中学校就学援助事業でございます。本年度予算額 6,443 千円で、前年度対比 56 千円の増額でございます。事業目的につきましては、義務教育の円滑な実施を図るための支援事業で、主な内容は、学用品費から卒業アルバム代まで 12 目を扶助費として支給しており、前年度並みの予算計上となっております。

続きまして、その下の JET 外国青年招致事業でございます。本年度予算額 5,344 千円で、前年度対比で 531 千円の増額でございます。事業目的につきましては、外国語教育の充実のための ALT の招致に係る事業で、主な内容は ALT の人件費を計上してございます。主な増の内容ですが、1 節の報酬で JET プログラムの運用改善について関係省庁より、昨今の民間の平均給料や地方公務員の給料等の動向等を踏まえ、全国的に報酬額等の見直しを行ったことによる増でございます。8 節の旅費では、ALT が自家用車使用により町内の移動に伴う費用弁償による増となっております。

続きまして、3 目中学校費の中学校教育振興事業でございます。本年度予算額 7,818 千円で前年度対比 3,503 千円の増額でございます。事業目的につきましては、中学校の教材整備に係る事業で、主な内容は中学校の学習に必要な教員の指導書や教材、楽器などの購入に要する経費を計上してございます。主な増の内容ですが、10 節の需用費で 4 年ごとに改定される中学校の教科書改訂に伴う教師用の指導書及びデジタル教科書等を更新するためのものでございます。

続きまして 29 ページ目でございます。5 項保健体育費、3 目給食施設費でございます。洞爺給食センターの運営事業でございます。本年度予算額 24,006 千円で前年度対比 183 千円の減額でございます。事業の目的につきましては、洞爺給食センターの管理運営に係る事業で、主な内容は、洞爺地区 2 校の給食提供に要する調理員の人件費、光熱水費など、食材購入費を除いた経費を計上してございます。主な増減の内容ですが、10 節の需用費で設備修繕費の減。18 節の補助金で、物価高騰による保護者の負担軽減対策として、一食 100 円の給食費への補助金を計上しているものでございます。

続きまして 30 ページでございます。虻田給食センターの運営事業でございます。本年度予算額 52,764 千円で前年度対比 3,933 千円の増額でございます。事業目的につきましては、虻田給食センターの管理運営に係る事業で、主な内容は、虻田地区と温泉地区 3 校の給食提供に要する調理員の人件費、光熱水費など、食材購入費を除いた経費を計上してございます。主な増の内容ですが、1 節の報酬で調理員の報酬改定による増、13 節の使用料および賃借料で蒸気ボイラー等リース費用の増、18 節で補助金の物価高騰による保護者の負担軽減対策として、1 食 100 円の給食費の補助金を計上しているものでございます。

以上、教育推進課所管の予算の説明を終わらせていただきます。

#### 角田社会教育課長

続きまして、社会教育課に係る関係予算につきましてご説明いたします。議案書 17 ページに戻っていただきます。

まず歳入でございます。14 款使用料及び手数料、1 項使用料、7 目教育使用料につきましては、社会教育施設および体育施設の使用料として、前年度並みの予算を計上しております。

15 款国庫支出金、2 項国庫補助金、5 目教育費国庫補助金、3 節社会教育費補助金につきましては、アイヌ政策推進交付金 1,555 千円を計上しておりまして、ICT 遠隔教育事業に係る経費に充当するものです。

続きまして 16 款道支出金、に 2 項道補助金、7 目教育費道補助金、1 節社会教育費補助金につきましては、学校支援地域本部事業費補助金となっております。1,314 千円を計上してございます。こちらにつきましては地域未来塾に関わる財源として計上したものでございます。続きまして 18 ページになります。

19 款 1 項 1 目繰入金につきましては、みんなの基金繰入金のうち、三豊市交流フレンドリーツアー1,600 千円を充当することとしてございます。

21 款諸収入、5 項 3 目雑入につきましては、1 節雑入で 1,504 千円となっております。フレンドリーツアーなど、社会教育事業の参加負担金として計上したものでございます。

続きまして 25 ページになります。4 項社会教育費、1 目社会教育総務費、社会教育管理事務事業につきましては、本年度予算額 5,775 千円前年度対比 266 千円の増となっております。事業目的につきましては、社会教育委員会議、社会教育関係団体に対する支援に係る事業となり、前年度並みの予算となっております。

続きまして 2 目社会教育奨励費、社会教育奨励事業でございます。本年度予算額 7,065 千円で前年度対比 1,632 千円の減であります。この事業は、フレンドリーツアー事業や地域未来塾および ICT 遠隔事業、男女共同参画関連事業、各種講座及び教室などの開催に伴う経費を計上しております。主な増減の内容ですけれども、13 節使用料及び賃借料において、フレンドリーツアー事業におけるバス借上料につきましては、これまで道南バスの利用を見込んでおりましたけれども、スクールバスを利用することにより 520 千円の減額としてございます。

続きまして、26 ページになります。3 目社会教育施設費、社会教育維持管理事業になります。本年度予算額 23,465 千円で、前年度対比 1,689 千円の増額となっております。事業内容につきましては、社会教育施設 4 施設についての維持管理経費となっております。主な増減の内容ですけれども、会計年度任用職員の給与改定による 1 節から 4 節までの人件費の増、それと 12 節委託料になりますけれども、高砂貝塚公園の木橋の防腐剤処理および入江貝塚公園の樹木剪定で 1,210 千円の増、14 節工事請負費で母と子の館児童室におけるエアコン設置工事に伴い、1,057 千円の増などとなっております。

3 の洞爺湖芸術館管理運営事業です。本年度予算額 10,286 千円、前年度対比 315 千円の減となっております。この事業は、特別展、ワークショップ、演奏会の開催、木彫作品の防虫殺虫対策などの経費を計上してございます。主な増減の内容ですけれども、1 節報酬におきまして、会計年度任用職員 1 名の減に伴いまして 1,629 千円の減、それから 7 節報償費で、道外作家の特別展の開催により 1,091 千円の増、10 節需用費、修繕料でエレベーターの制御盤の修繕に伴い 859 千円の増などとなっております。

次に、読書の家管理事業、4 目図書館費になります。本年度予算額 5,277 千円で、前年度対比 386 千円の増額となっております。町内図書施設における管理運営、読書感想画、読書紹介文事業に係る経費などを計上してございます。会計年度任用職員の給与改定による人件費の増以外は前年度並みの予算としております。

続きまして議案書 28 ページ、文化財保存整備事業、5 目文化財費になります。本年度予算額 15,729 千円で、前年度対比 13,500 千円の増額となっております。主な増減の内容につきましては、新しい保育所建設に伴う栄遺跡発掘調査を実施することによる必要経費分 13,414 千円の増額などとなっております。

続きまして 5 項保健体育費、1 目体育奨励費、社会教育振興事業でございます。本年度予算額 2,287 千円で前年度対比 98 千円の増となっております。事業目的につきましては、各種スポーツ教室大会の開催等、地域のスポーツ振興に係る事業となります。前年度並みの予算となっております。

続きまして議案書 29 ページ、体育施設費、体育施設運営事業でございます。本年度予算額 13,419 千円、前年度対比 490 千円の増です。事業目的は各社会体育施設の維持管理に係る事業となります。主な増減の内容ですけれども、会計年度任用職員の給与改定による施設管理員人件費の増、10 節需用費では、町民プールの非常口サッシ、虻田体育館アリーナ床のウレタン塗装で 312 千円の増、12 節町民プール送迎バス運行委託料で 40 千円の減額などとなっております。以上で説明を終わります。

#### 渋川教育長

次年度の予算についての報告がありましたけれども、何かご質問等よろしいでしょうか。

#### 岡本委員

とうや小学校のトイレ改修はいくつ直すのですか。

#### 細江教育推進課長

トイレの改修につきましては、児童用 1 か所の改修を行います。全ての和式トイレを洋式化するので、全体で男女それぞれ 1 か所ずつ減るような形になります。どうしても個室の大きさが和式から洋式に変えると若干広くなってくるものですから、そこ数を 1 つずつ減らして、全て洋式化にするという形になります。

#### 岡本委員

はい、わかりましたありがとうございます。

#### 渋川教育長

その他、いかがでしょうか。

《なしの声》

それでは、以上のとおり報告を受けたということでご了承をお願いいたします。

続きまして、報告第 11 号、令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要についてお願いします。

#### 山本教育指導参与

議案書 31 ページ、報告第 11 号、令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要についてご報告いたします。

調査期日につきましては、令和 6 年 4 月から同年 7 月末までの期間で実施しております。対象学年につきましては、小学 5 年生と中学 2 年生となっております。

調査内容につきましては、一つ目が児童生徒に対する調査と実技に対する調査と質問紙調査。二つ目に、学校に対する質問紙調査。三つ目に、教育委員会に対する質問紙調査となっております。

ここでは 3 の調査の内容、(1) の児童生徒に対する調査の概要について、別冊の資料にて説明させていただきたいと思います。

別冊 1 ページ目は用語の解説と説明となっております。1 ページめくっていただきまして体格集計でございます上段が小学校 5 年生男子となります。身長・体重ともに全国・全道平均を上回っている現状となっております。また、右側の肥満度については中等度肥満、軽度肥満の割合が全国・全道を上回っているということです。

下段になります小学校 5 年生の女子でございます。体格調査 T 得点においては身長・体重とも全道・全国を回っている状況でございます。肥満度傾向については、中等度肥満が以上が 0 % ということであり、昨年度からは改善傾向となっております。

1 枚めくっていただきまして、こちらは実技集計でございます。小学校 5 年生男子

です。握力からソフトボール投げまで各種項目の数値は記載されているとおりでございます。左下の実技調査 T 得点においては、体力合計点が平均 49.6 点ということで、全道・全国を若干下回っている状況となっております。昨年と比較すると、右側の総合評価の部分で総合評価の E 層の割合が減り平均としては、昨年度よりも良くなっている傾向でございます。

続きまして、次のページお願いいたします。こちらは、実技集計小学校 5 年生の女子のデータとなります。上段握力からソフトボール投げまでのそれぞれ記載の結果となっております。体力の合計点数につきましては 53.8 点と、全道・全国を上回っている状況です。昨年度 49.5 点ということで改善傾向にあることがうかがえる結果でございます。次のページからは児童質問紙の集計となっておりますがこちらは省略させていただきます。

次に中学生になります。1 ページ目、用語の説明となります。次のページから体格集計ということになります。中学校 2 年生男女の傾向でございます。上段が中学校 2 年生男子、下段が中学校 2 年生女子ということです。身長・体重は男女ともに全道・全国平均並みとなっております。体重は男子は昨年並み、女子は改善傾向ということになっております。

次のページ、男子の実技集計となります。種目は握力からハンドボール投げとなっており記載の結果となります。体力の合計点といたしまして、実技の体力合計点 T 得点が 46.9 点ということで、全道・全国を下回っているという結果です。総合評価といたしましては、全道・全国から比較すると総合評価の E 層が減っているのですが、逆に A 層が減っているということで、昨年度と比較すると同じ傾向となっております。

次のページいきまして、女子の実技集計でございます。握力からハンドボール投げまで記載の結果のとおりでございます。左下の実技調査 T 得点につきましては、全道・全国よりも低い状況となっております。右側の総合評価につきましては、D 層と B 層が合わせて 50% 以上となっている状況で、昨年度よりも低い結果となっております。これらのデータを基に、学校全体で体力向上の取り組み、また保護者や地域との協力によって生活習慣の見直しを図って進めてまいりたいというふうに思います。

以上となります。

**渋川教育長**

それでは、質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

このT得点っていうのが、全国を50点としたとき、それぞれどのぐらいの割合かというのをT得点という言い方をして使うんですよ。

**岡本委員**

この体力合計点が低めに出ているのは、持久走が計れなかったからですか。

**山本教育指導参与**

持久走は、20mシャトルランか持久走のどちらかを選ぶというところで、20mシャトルランで計測しております。

**岡本委員**

なんでこんなに女子が低いのですかね。こんなにいつも低いわけじゃないですよ。

**吉田委員**

小学校5年生の段階でも全国と比べて低かったのでしょうか。5年生の時と中学2年生で比較できないので、この子たちが5年生のときはどうだったんでしょうか。

**山本教育指導参与**

これは単年度というところで、経年変化として見るのは今後の課題ということで  
しっかり分析する必要があると考えております。児童生徒の質問紙からもいろんな傾向が見受けられる部分がありますので、普段の生活習慣の部分などは分析し今後の取り組みに繋げていきたいと考えてはおります。

**渋川教育長**

過去から、中学2年生の女性は低いんですよ。ですので、うちの町の女の子たちもご多分に漏れずというところなのかなと感じているところです。ただ、これはやはり問題がありますので、何らかの手を打っていかないとならないだろうと思っています。

**岡本委員**

どうしても運動不足にはなりますけど、中学校に入ると、特にスポーツ系の部活に入らない限りは運動が通学だけという状況にはなるんですけど。

**渋川教育長**

母数が少ないというのもあると思うんですよ。一つの学年自体が男子と女子合わせて40名とかですから、その半分ということになると、ちょっと手を抜いたり運動の苦手な子が入っていたりすると大きく数値が動いてしまうものですから、一概に全ての子が低い傾向かという、そうではないと思っはいるんですよ。

よろしいですか。

**【なしの声】**

ありがとうございました。それでは、以上のとおり報告を受けたということでご了承をお願いいたします。

日 程 第 5

【 議 決 事 項 】

・ 議案第 6 号

それでは続きまして、日程第 5、議決事項に移らせていただきます。

議案第 6 号、洞爺湖町教育委員会部局の人事異動についてお願いいたします。

**細江教育推進課長**

32 ページでございます。議案第 6 号、洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について

別紙のとおり発令したので、議決を求めるものでございます。議案説明資料をお開きください。2 ページになります。

本年 3 月 31 日付の人事発令でございます。定年退職により、虻田小学校で勤務されている毛利栄二さんが退職となっております。

続きまして、3 ページでございます。本年 4 月 1 日付での人事異動の内示でございます。課長補佐職につきましては、春名宣寛さんが経済部建設課長補佐から教育推進課長補佐兼学校教育係長といたしまして、大楽泰生さんが教育推進課総務係長兼教育政策係長から教育推進課長補佐兼総務係長兼教育政策係長、係長職といたしまして、藤川安永さんが会計課会計係長から社会教育課文化スポーツ課係長、中谷麻美さんが経済部観光振興課・世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室・ジオパーク・縄文推進係長から社会教育課洞爺湖芸術館係長、係としていたしまして、伊藤怜子さんが総務部総務課職員係兼総務係から教育推進課総務係兼学校教育係兼教育政策係、役職定年といたしまして、先ほど 3 月 31 日の退職等をお知らせいたしました毛利栄二さんが再任用といたしまして、教育推進課虻田小学校主任より教育推進課虻田小学校勤務ということで、引き続きの発令が出てございます。

4 ページ目になります。町長部局への出向でございます。係長職で大西慎さんが教育推進課から経済部上下水道課主査、黒澤博美さんが社会教育課から議会事務局庶務議事係長、主任職では谷永智崇さんが教育推進課から西胆振行政事務組合へ派遣、係職として工藤和大さんが教育推進課から総務部子育て支援課保育係へ内示をしているところでございます。

以上、異動の発令をする議決を提案させていただきます。

**渋川教育長**

それでは、質疑をお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

《なしの声》

異議なしと認めます。

それでは議案第 6 号、洞爺湖町教育委員会部局の人事異動については原案のとおり可決されました。

続きまして議案第 7 号、洞爺湖町立学校教職員の人事異動についてお願いいたします。

**細江教育推進課長**

議案書 33 ページになります。

議案第 7 号、洞爺湖町立学校教職員の人事異動について、次のとおり内申をしたいので、議決を求めるものでございます。議案の資料の説明資料 6 ページをお開きください。

学校職員の内示書でございます。まず、校長職でございます。虻田小学校につきましては、横山校長が白老小学校に転出、後任には豊浦小学校、現在は在学教育施設派遣を修了されております細野輝彦校長が転入されます。

・ 議案第 7 号

<p>・ 議案第 8 号</p>	<p>教頭職につきましては、とうや小学校の田中教頭が白老の虎杖小学校に校長採用として転出なされます。後任は豊浦町の礼文華小学校より山岡武志教頭が転入されます。</p> <p>続きまして、教諭でございます。虻田小学校の佐々木浩司さんが再任用で勤務されておりましたが退職、後任に新規採用の大宮蒼子さん、同じく虻田小学校の清水咲妃さんが苫小牧の美園小学校へ転出、後任には、他管から美瑛東小学校から小野寺晃伸さん、同じく虻田小学校の渡辺美乃さんは、苫小牧の拓勇小学校へ転出され、後任には新規採用で奈須川瑞希さん、同じく虻田小学校の今野登司さんは定年退職で、引き続き再任用のフルタイムで虻田小学校での任用となります。次のページでございます。洞爺湖温泉小学校の永沼千枝さんが自己都合の退職で、後任にはとうや小学校の苫米地昭彦さん、同じく洞爺湖温泉小学校の水野智恵さんが自己都合の退職で、後任には苫小牧の拓勇小学校から岩瀬絵南さん、同じく洞爺湖温泉小学校の大越正史さんが自己都合の退職で、後任には伊達市関内小学校より大谷真由美さん、続きましてとうや小学校です。とうや小学校の苫米地昭彦さんが洞爺湖温泉小学校へ、後任に豊浦小学校より福田暁さん、続きまして、虻田中学校でございます。虻田中学校の斉藤文子さんが豊浦中学校へ、後任に室蘭桜蘭中学校より三松千香さんが転入されます。同じく虻田中学校の池田優介さんが室蘭桜蘭中学校に転出、こちらは定数減による減となります。続きまして洞爺中学校でございます。洞爺中学校の佐藤あゆみさんが定年による退職で、後任には他管から南富良野中学校より大山愛恵さん、同じく洞爺中学校の岩渕祐樹さんが登別鷺別中学校へ、こちらは定数減による減となるものでございます。</p> <p>続きまして、事務職員です。虻田小学校の西堀春美さんが自己都合の退職で、後任には洞爺湖温泉小学校の澁谷航さん。洞爺湖温泉小学校の澁谷さんが虻田小学校へ異動されることから、後任には他管より浦幌町浦幌中央小学校の阿曾友里加さん、洞爺中学校の谷詰重見さんは定年退職で、引き続き再任用フルタイムで洞爺中学校での任用となります。人事の内申をいたしましたので、議決を求めたいと思って質を求めたいと思います。</p> <p>以上ご提案申し上げます。</p> <p><b>渋川教育長</b></p> <p>それでは質疑をお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>《なしの声》</p> <p>それでは、異議なしと認めます。議案第 7 号、洞爺湖町立学校教職員の人事異動については原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして議案第 8 号、独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する取扱要綱の一部改正についてお願いいたします。</p> <p><b>細江教育推進課長</b></p> <p>34 ページをお開きください。議案第 8 号、独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する取扱要綱の一部改正について、次のように定めるものでございます。詳細につきましては、35 ページの新旧対照表でご説明させていただきます。第 1 条中の「以下「法」という。」及び「洞爺湖町立保育所の児童の保護者並びに」を削るものでございます。</p> <p>この要綱につきましては、令和 5 年 10 月 1 日付の機構改革に伴い、保育所の</p>
------------------	--

<p>・ 議案第 9 号</p> <p>日 程 第 6</p> <p>【 そ の 他 】</p> <p>日 程 第 7</p> <p>【 閉 会 】</p>	<p>町長部局への移管により関係する規則等について一括して改正を行ったものでございますが、一部改正できていなかったことにより今回改正するものでございます。議案書 34 ページに戻っていただきまして、付則でございます。この規則は公布の日から施行し、令和 6 年 4 月 1 日から適用するものでございます。以上ご提案申し上げます。</p> <p><b>渋川教育長</b></p> <p>それでは質疑をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>《なしの声》</p> <p>異議なしと認めます。それでは議案第 8 号、独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する取扱要綱の一部改正につきましては、原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして、議案第 9 号、洞爺湖町いじめ防止基本方針の一部改定についてお願いいたします。</p> <p><b>細江教育推進課長</b></p> <p>議案書 36 ページでございます。</p> <p>議案第 9 号、洞爺湖町いじめ防止基本方針の一部改正を次のように定めるものでございます。議案書 38 ページ以降で説明を申し上げます。</p> <p>改正の趣旨といたしましては、令和 7 年 3 月議会において可決されました、洞爺湖町いじめ問題対策連絡協議会、洞爺湖町いじめ重大事態調査委員会、洞爺湖町いじめ重大調査委員会及び洞爺湖町いじめ再調査委員会条例に基づき、洞爺湖町いじめ防止基本方針の所要の改正を行うものでございます。</p> <p>42 ページをお開きください。こちらは、いじめ問題対策連絡協議会に対する内容を、条例に沿って修正を行うものでありまして、赤字で見え消した部分を削除し、赤字の部分を追加修正するものでございます。</p> <p>続きまして、46 ページから 47 ページをお開きください。こちらは、洞爺湖町いじめ重大事態調査委員会に関する内容を先ほどの説明と同じく条例に沿って修正を行うものでございます。赤字で見え消した部分を削除し、赤字の部分を追加する修正するものでございます。</p> <p>次に 48 ページをお開きください。こちらは、洞爺湖町いじめ再調査委員会に関する内容を条例に沿って修正を行うものでありまして、赤字で見え消した部分を削除し、赤字の部分を追加修正するものでございます。</p> <p>以上、ご提案申し上げます。よろしく願いいたします。</p> <p><b>渋川教育長</b></p> <p>それでは、質疑をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>《なしの声》</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>それでは、議案第 9 号、洞爺湖町いじめ防止基本方針の一部改正につきましては原案のとおり可決されました。以上で議決の方は終わりました。</p> <p>日程次第 6、その他でございますけど何かございますか。</p> <p>《なしの声》</p> <p>それでは、以上をもちまして、洞爺湖町教育委員会令和 7 年第 2 回定例会を終了させていただきます。</p> <p>15：00 閉会</p>
--	---

